



■「また、いつしよに遊べるね」

コロナの「まん延防止」が解除になり小さなガッツポーズを取りました。再開した日は「もう長かったです」とお母さんの一言で、家の中ばかりの子育てが大変だったことがよく伝わりました。

桂川町に越して来た親子。3ヶ月の妹と2歳の兄が母親と遊びに来ています。お母さんが妹に授乳し始めると「おっぱいやらない!」「だっこ!」「お母さんが私たちと話す」「話さない!」次々に「大好きなお母さん、ぼくだけを見て!」と言わんばかりのアピールをくり返すお兄ちゃん。遊びに来て他の子も気にはなるけど、自分の不満をぶつける様にその子の遊んでいるおもちゃを取ったり押したりすることもありました。初めて町、新しい家、妹の誕生。2歳のお兄ちゃんが受け入れるには時間もかかるだろう。どうしたら安心してくれようかと考えていました。そんなある日、元気な4歳の男子と一緒にいる日、その子の動きに興味津々。その内、中庭で始まった水あそび、頭から水をかぶり芝の上を走り回りそれはそれは楽しそうでした。

た。大満足で帰って行きました。

その日を境に徐々に落ち着いて遊び、「友だちが遊んでいるからちよつと待ってね」等の声かけも受け入れるようになりました。妹も授乳室でゆっくりおっぱいが飲めています。今度も友だちの力を痛感しています。もちろん根気よく連れて来て一緒に遊んでやるお母さんの力も大きいです。私たちは、こうして子どもたちの成長を、また見られる様になったことをうれしく思います。



▲ 待ってた水遊び! 気持ちいいな~

子育て支援センター 「ひまわりのたね」

【開館】月~金曜日 9~16時

【場所】総合福祉センター
「ひまわりの里」内

【対象】0歳から未就学の子
どもとその保護者

※利用には保護者の付き添い
が必要です

【利用料】無料